

個人情報のFAXによる誤送信について

福井県立病院において、患者の個人情報が記載された書類を関係病院に送信する際に、FAX番号の打ち間違いにより無関係の個人宅へ誤送信していたことが判明しました。

今後、同様の事案が発生することのないよう、速やかに対策を実施します。

1 FAXの誤送信の内容

患者の転院調整に必要な個人情報が記載された書類をFAXにより送付するにあたって、番号の打ち間違いにより、無関係の個人宅に誤送信してしまいました。

2 経緯

4月12日（水）8時30分頃、地域医療連携推進室職員が患者の診療情報提供書を転院調整先病院にFAXするところを個人宅に誤送信。

4月17日（月）FAXを受信した個人から葉書による連絡があり、誤送信が判明。

3 対応

患者のご家族に、院長、事務局長が説明と謝罪を行いました。

4 再発防止策

<これまでの送信方法>

これまではFAX機器に登録されていない医療機関へ送信する場合、職員がWチェックをして番号が間違いないか確認して送信しておりましたが、人為的ミスが発生しました。

<新たに改善した送信方法>

最初に医療機関の送信番号をWチェックした上で、FAX機器に登録し、さらにテストで患者情報のない用紙を送信し、電話で送信先に到着を確認した上で正式な情報を送信する方法に変更しました。

今後、同様の事案が発生することのないよう、個人情報の取扱いについて職員への指導を徹底します。

福井県立病院